

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------------|-----|----------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス 空へじゃんぷ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年 9月 15日 | | ~ 2024年 10月 1日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 20人 | (回答者数) 10人 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年 9月 15日 | | ~ 2024年 10月 1日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9人 | (回答者数) 8人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 1月 20日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 保護者との情報共有 (連絡ノート・送迎時や来所時・保護者面談など) | 利用者の意見を取り入れた行動支援 ミーティングなどで利用者の様子など情報共有している | 研修などを活用し、各自知識を深めていく |
| 2 | 野菜を育て収穫し調理し食す事 | 行事を通して、食物連鎖が感じられる体験が図れる 色々な作業工程を提案し、沢山の人が関わられるようにしている 写真に撮り、ホームページに掲載し、啓発を行う | 色々な作物を栽培していく |
| 3 | 季節が感じられる壁面工作に取り組む。 | 四季(春夏秋冬)を意識し、工作に取り組んでいる。 季節のイベント等も企画し、子どもたちが活動できる場を提案出来るように工夫している。 | より成果が高度化するために 職員の研修、子どもへの提案の仕方、工程をわかりやすく工夫する |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 従業員の知識の差 | 勤務年数に差がある(長い人と短い人で10年くらい違う) 事が要因と思われる。 | 研修等を行い個々の知識を深めていく。 自分でも知的障害者向けの集会などに参加し知的障害者の理解を深める。 利用者の特性、出来事等のディスカッションを密に話し伝達するように心がける。 |
| 2 | 他の事業所との交流 | 同系列の児童発達支援事業所との交流は行っているが、他の放課後等デイサービスとの交流ははかされていない | 同じ事業所内(じゃんぷキッズ)との交流や地域のイベント等への参加を行い交流の機会を設けているが、広島市自立支援協議会安佐南区地域部会などで他の事業所との交流が図れるか検討していく。 |
| 3 | 災害時の対応等の周知(保護者) | アンケート調査から、保護者への周知が不十分であったと認識。 | 入所申し込みの際、避難先や災害時の連絡方法などを確認する 連絡帳などで、当日・前日のお知らせの様子などをお伝えしているが、避難訓練を行った様子を後日配布していく。 |